



自ら立ち ともに 未来を拓く生徒

新川西中学校だより

令和8年度7月号

7月3日(金)

通算 445号

HP アドレス : <https://www.shinkawanishi-j.sapporo-c.ed.jp/>

修学旅行を終えて 3学年主任 永田大貴

5月30日(土)～6月1日(月)にかけて、我々3学年は修学旅行に行ってきました。1年生の頃より、「食育」と「チームビルディング」を柱に3年間の旅行的行事を計画・推進してきました。1年生では、自分たちで調理計画を立て、役割分担をしながら野外炊事を行うことで、協力して作ったカレーを共に楽しみ、仲間との絆を深め、力を合わせ何かをやり遂げることの達成感や楽しさを味わいました。2年生の宿泊学習では、富良野演劇工房でコミュニケーションプログラムを受講し、『伝える』と『伝わる』の違いは何か」という問いから、コミュニケーションにおいて大切な経験を積み重ねていくための心構えについて学びました。

そして、3年生の修学旅行では以下のようなテーマを掲げて修学旅行に行ってきました。

東北地方の(食も含めた)文化に触れ、自分たちの住む地域(故郷)との違いを知り、地域を支える文化の役割について知見を広げる。チームの一員としての心構えや、自分に関わる人との関わり方を考える。

しおりの最初のページにある、学年委員長の巻頭言の中には、大切にしてほしいこととして「この旅で関わってくれた方々への感謝の気持ち」を挙げていました。以下、日程に沿って振り返りたいと思います。

【1日目 弘前市内自主研修、なまはげ太鼓鑑賞】

体調不良など急な欠席もなく、無事に出発。JR、新幹線を乗り継ぎ、弘前市へ到着。事前学習として班別に立てた行動計画に沿って弘前市内を自主研修。歴史的建造物などを見て廻りました。計画を立てたとは言え、初めての地で土地感覚もないので、計画していた時間はずれていきます。それでも班でまとまって臨機応変に対応しながら行動し、最後は予定通りの時間に目的地に到着し満足そうな表情だった姿が印象的でした。計画通りに進めることよりも、暑さや疲労で遅れてしまう仲間に寄り添うことを優先する姿から、仲間を思いやる心がまた一段と育ってきていると感じました。その後はバスで秋田に入りホテルへ。夕食後に「なまはげ太鼓」の生演奏を鑑賞。演者の方々の迫力もあり、東北地方の文化を強く体感できた時間でした。

【2日目 座禅体験、味噌付けたんぼ作り体験、秋田芸術村・踊り体験】

午前は恩徳寺にて座禅体験を行いました。静寂に包まれた中で自然の音に身を委ねながら自分自身の心と静かに向き合う時間でした。なかなか日常生活の中でこういった時間はとれないので、貴重な体験になったと思います。その後は鹿角あんたらあに移動し、秋田の郷土料理である「たんぼ」作りを体験しました。施設の方々に教わりながら、自分たちで作ったたんぼをみんなで食し、笑顔あふれるひと時を過ごしました。その後は、2日目の宿泊施設である温泉ゆばぽに移動し、ミュージカル鑑賞と、演者の方々に実際に教えていただきながら学級ごとによさこいを練習しました。夕食後は学級ごとにステージで発表会を行いました。各学級、笑顔あふれる迫力のある発表でしたし、観ている側もしっかりと盛り上げ、心と心のつながりをその場にいる全員が感じ取れた時間だったように思えます。学級・学年がひとつになった瞬間でした。



【3日目 小岩井農場でお土産購入】

小岩井ミルク等でお馴染みの小岩井農場に行きました。疲労が出てくる頃かと心配される中でしたが、お土産購入に目を輝かせ、家族のためにとたくさんの商品を持って並ぶ姿が見られました。自然あふれる広い農場で仲間とゆったりとした時間を過ごし、札幌へ。新幹線、JR の中では残りの時間を惜しむかのようにわいわい楽しむ姿も見られました。最後の学級ミーティングでは各学級の成果とこの3日間の頑張りを讃え合い、また学級や学年のチームワークの高まりを感じた瞬間でした。

以上、3日間を簡単に振り返りました。しかし、修学旅行で得られた成果は当日の3日間だけで生まれたものではありません。修学旅行の成功に向けて学級や学年で現状の課題点を見つめ直し、生徒が主体的に声を掛け合い、話し合い、気持ちを合わせてきたからこそ生まれたものです。生徒の反省の作文にも、当日の楽しかった記憶だけでなく、ここまでの取り組みの中で自分自身が考えたことや、これからの生活に活かせること、また今回の旅に多くの方々が協力してくださっていたことへの感謝が多く書かれていました。修学旅行を旅行として終えるのではなく、多くの学びのある活動にできたのではないかと思います。

3学年の保護者の皆様におかれましても、お忙しい中、早朝の集合・朝食準備、帰りのお出迎え等たくさんのご協力をいただき本当にありがとうございました。大切なのはこれからです。残りの中学校生活を大切にしながら、「伝統をつくる学年」として、個人個人が人として、学年がチームとして、さらなる成長を積み重ねていきたいと思っています。



宿泊学習を終えて 2 学年主任 高橋清美

6月10日(水)から11日(木)にかけて、宿泊学習を実施しました。お子様たちは仲間と協力しながら、充実した2日間を過ごすことができました。

1日目の旭山動物園の見学では、動物たちの自然な姿を間近で観察し、普段の学習では得られない発見や驚きをたくさん味わうことができました。その後、旭川市内の体育館で学年レクを行い、さまざまな活動を通して学年の仲間との交流を深めました。互いに声を掛け合い、協力して取り組む姿や仲間を応援する姿が多く見られました。宿泊先の白金温泉では、集団生活の中で時間を守ることや周囲への気配りを意識しながら過ごしました。仲間たちと同じ時間を共有することで、学級や学年の絆も一層深まったように感じます。

2日目は富良野演劇工房を訪れ、表現活動に挑戦しました。仲間と力を合わせて活動する中で、自分の考えを伝えたり、相手の思いを受け止めたりする大切さを学ぶことができました。今回の宿泊学習で得た経験や学びを、これからの学校生活にも生かし、さらに成長していけるよう支援していきたいと思っています。「時間を守ることを当たり前にする生活習慣の定着」「互いを認め合い、誰もが安心して過ごせる学年集団づくり」を今後の重点目標として取り組んで参ります。ご家庭での準備や励ましへのご協力、ありがとうございました。

